

リーディング期

V期～

科学技術人材育成システム改革を先導する役割

卓越した研究開発を通じて、科学技術人材育成システム改革を先導。

V期目は、IV期までとは異なる枠組みであり、指定校は、科学技術人材育成におけるシステム上の課題を自ら設定し、当該課題に挑戦する意欲的な研究開発を実施することで科学技術人材育成システム改革を先導する。

IV期

深化と精選：確立した取組をベースに強みを伸ばす一方、取組を精選

III期までの取組を基にして、域内外に波及するような取組を確立するとともに、これまで築いてきた強みを恒常化。

III期

特色と変革：自らの強み等を確立し一段高い研究開発

I・II期までの取組をベースとしながら、自らの強みや、教科間連携、学校全体での組織的な指導体制等を確立した上で、一段高い研究開発を行い、域内における科学技術人材育成の取組を促進。

発展期

III期目以降は、中間評価の結果も踏まえて更なる特色づくりやI・II期以上の取組の進化の可能性が認められる場合に限り指定。

II期

安定と特色：学校全体で組織的に研究開発等に取り組む体制等を構築

I期目からの取組を踏まえ、他教科を含めた学校全体として組織的に研究開発等に取り組む体制等を構築。

創成期

I期

開発と安定：コアとなるカリキュラムや取組の実施、SSH型学校経営の実施

自立

一定のSSHの実績を有する学校を「認定枠（仮）」として指定。
科学技術人材育成のモデルとして、これまでの研究開発の成果を基にした多様な実践活動を普及・展開。